

「杜の都環境プラン」 定量目標の進捗状況等（平成 25 年度実績）について

「杜の都環境プラン」（計画期間 平成 23 年度～32 年度）に定める定量目標 10 項目の達成に向けた平成 25 年度の進捗状況は下記のとおりである。

平成 25 年度（または直近）の状況

施策体系	定量目標	平成25年度(または直近)の状況
低炭素都市づくり	1 平成32年度(2020年度)における市域の温室効果ガスの総排出量を平成17年度(2005年度)比で25%以上削減します。 基準値:8,338,416t-CO ₂ (平成17年度)	8,896,637t-CO ₂ (平成24年度)※1 (平成17年度比 6.7%増)
資源循環都市づくり	2 平成32年度(2020年度)におけるごみの総量を平成21年度(2009年度)比で10%以上削減し330,000t以下とします。 基準値:366,785t(平成21年度)	390,383t (平成25年度)
	3 平成32年度(2020年度)におけるリサイクル率を40%以上とします。 参考値:30.9%(平成21年度)	29.9% (平成25年度)
	4 平成32年度(2020年度)における燃やすごみの量を平成21年度(2009年度)比で16%以上削減し267,000t以下とします。 基準値:316,591t(平成21年度)	336,897t (平成25年度)
自然共生都市づくり	5 平成32年度(2020年度)におけるみどりの総量(指標:緑被率)について、現在の水準を維持・向上させます。 基準値:78.8%(平成21年度)	—
	6 生態系の頂点に位置する猛禽類の生息環境を維持・向上させます。	震災等に伴う海岸防災林周辺の環境変化が猛禽類の生息環境に影響を与えていると考えられる (平成25年度)
	7 身近な生き物の市民の認識度を現在よりも向上させます。 基準値:448.4%【9種合計900%中の値】(平成22年度)	—
快適環境都市づくり	8 大気や水、土壌などに関する環境基準(二酸化窒素についてはゾーン下限値)について、非達成の場合にはできる限り速やかに達成し、達成している場合にはより良好な状態に保持します。	大気汚染・水質汚濁・騒音に係る基準について一部非達成(平成25年度)
	9 平成32年度(2020年度)における市民の「環境に関する満足度」について、「満足している」と回答する人の割合を現在よりも向上させます。 基準値:223.8%【9項目合計900%中の値】(平成20年度)※2	—
良好な環境を支える仕組みづくり・人づくり	10 平成32年度(2020年度)における、日常生活における環境配慮行動について、「常に行っている」と回答する人の割合を現在よりも向上させます。 基準値:926.7ポイント【25項目中の実践度の値】(平成20年度)※3	—

(注) 目標に係る現状値については、①毎年度把握するものと、②数年毎あるいは計画の中間評価等の際に把握するものがある。②に該当する項目(№5、6、7、9、10)については、「平成25年度(または直近)の状況」欄において「—」などと表示している。なお、№6については、津波の被害により明らかとなった状況を記載している。

※1: 温室効果ガス排出量は、国・県・業界団体等の公表する各種統計データにより推計するものだが、データが揃うまでに2年程度の時間を要することから、現時点での直近の数値は平成24年度分である。

※2: 「まちの清潔さ・ごみの少なさ」や「歴史的・文化的な雰囲気」など9項目に関して「満足している」と回答した人の割合の合計値を記載している。

※3: 「家具などは修理して、長く使う」や「駐車車の際は、エンジンをかけっぱなしにしない」など25項目に関して「常に行っている」と回答した人の実践度の合計値をポイントとして記載している。